

## 気象科学館の土曜日の開館について

皇居の堀沿いにある気象庁庁舎（千代田区大手町）の1階に、気象業務を中心とした総合的なミュージアムとしてはここにしかない「気象科学館」があります。ここは気象業務の紹介や気象（防災）知識の普及・啓発を目的として、気象庁内に分散していた資料や展示物を集めて、6月1日の気象記念日にあわせて（平成9年6月1日は日曜日だったため翌日の）平成9年6月2日に開館したものです。

この気象科学館では、気象業務の現状をビデオで放映するとともに、気象や地震の観測に使用する機器、気象業務を分かりやすく説明したパネル、エルニーニョ現象等をパソコンを使って学習・理解するために展示しています。

最近では、小中学生の総合学習で利用されるケースも多く、年間に約4000人の方々に足を運んでいただいています。開館は、月曜日から金曜日（休日を除く）、午前10時から午後4時までの6時間となっています。

今般これに加え、気象予報士会のご協力を得ることにより、来館の希望が多かった毎週土曜日にも科学館を開館することが出来るようになりました。土曜日でも午前10時から午後4時まで開館し、気象予報士会会員が来館者の質問などにお答えします。

気象科学館では3つの実験装置による実験をご覧になれます。その実験装置とは、竜巻が発生する様子を見られる『竜巻発生装置（たつのすけ）』、上空から雨が降ってくる時に雨粒がどのような形になるのか分かる『雨滴実験装置（ポタリくん）』、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象を再現する『液化化実験装置（どろん丸）』の3つです。

これらの実験装置は石垣島地方気象台の職員が作成したもので、見学をお申し込みの際に「竜巻が発生するところを見たい」などと言っていただければ実験を実施します。

さらに、毎月の第3土曜日には、午前と午後の1回ずつ庁内の見学会も実施することにしました。見学会では、天気予報・各種気象情報等を作成・発表する部屋と、地震・火山の監視、情報発表を行っている部屋にご案内し、実際に業務を行っている現場を間近に見



気象庁職員が竜巻発生装置「たつのすけ」を使用して竜巻が発生する様子を説明。

ていただけます。

気象科学館の入場・見学はともに無料で、当庁の職員による説明付きの見学は1日3回（10時30分、13時30分、15時00分からの各1時間）、第3土曜日の庁内見学は1日2回（10時30分、13時30分からの各1時間）実施しており、お電話にてご予約を受け付けています。

気象業務を知っていただく場として、どうぞご活用ください。皆さんがお越しくださるのをお待ちしております！

**所在地：**〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁1階 気象科学館

**休館日：**日曜日・祝祭日・年末年始

（但し、7月下旬～8月31日の期間中は日曜日  
も開館）

**入場料：**無料

**お問い合わせ：**

—職員による説明付きの見学（平日と第3土曜日）  
へのお申し込みは—

気象庁総務部総務課広報室

Tel：03-3212-8341代表

—毎週土曜日の科学館見学へのお申し込みは—

気象予報士会 kisyo-kagakukan@nifty.com まで。

（気象庁広報室）